

*『ジャイモシ』ネパール語で「主(神)を讃美しましょう」の意

ネパールの女性たち

ネパールでは民主化運動の成功の後、新しい憲法はいまだに制定されていません。しかし、暫定憲法は「平等は基本的な権利であり、何人も平等に扱われるべきである」と述べ、女性に法的な権限を保障しています。けれども、ネパールでの実生活では慣習が根強く、女性の権利は認められていないのが実情です。

ネパールは男性に支配された社会です。男性は



家長であり、家庭における決定権を持っています。女性は、生まれてから結婚する日までは父親の意思の下にあり、結婚してからは夫の所有物となり、夫は彼女の人生について決定する権利を持ちます。夫の死後、彼女は自分の息子の意思の下にしなければなりません。ネパールのほとんどの民族で、これは慣習なのです。全ての決定を男性が行い、女性はそれに従順に従わなければなりません。

女性はすべての面で弱い立場にあります。女性の身分は自分の一族の男性によって決まります。誰の娘であるか、誰の妻であるか、誰の母親であるかです。

女性が直面する問題は多くあります。ほとんどの女性が農業に携わり、家の中では料理、洗濯、育児などをしますが、収入を得られる仕事を持っておらず、独立することは認められません。女性に対する家庭内暴力はよくある問題です。多くの村で、女性たちは囚人のように家に縛られ、移動と通信の自由さえ無視されています。

このような女性の無力さは搾取につながっています。私たちの文化、社会、そして家庭においてこのような状況は作られ、女性にとって非常に大きな差別が生まれています。最近では、女の子だと分かると生まれる前に殺されることさえあります。

今、私たちは正に現代社会を走っています。新しい技術の発展により、非常に多くの変化が私たちの生活にもたらされました。しかし依然ネパールの女性たちは身体的、心理的、性的、経済的、伝統的な差別に苦しんでいます。貧困、無職、家族計画の不足、非識字、女性への教育や自由がないことが大きな要因です。ネパールの女性たちを取り巻く環境は、現代でもほとんど変化がありません。

PEN職員 ウジャラ シレスタ



目次:

ネパールの女性たち	1
「ソーラーシステム」第2段階	2
ネパールのカースト制度(1)	2
ビジョンキャンプ(第9回)報告	3
ベテル幼稚園を設立して	3
クリティ・タパの日常生活	4
質問箱	5
正会員費はどのようなものに支出しているのですか	
ネパール豆知識	5
ネパールは今でも物々交換しているの?	
こんな自分も必要とされている	5
2011年度決算報告	6
支援者状況 ('11年10月~'12年3月)	6
新たに支援される子供たち ('11年10月~'12年3月)	6

ハイライト:

「ソーラーシステム」第2段階
BFN正会員 平岡真実
(2ページに写真を掲載)

新連載
ネパールのカースト制度(1)
コモル・プラサド・ポカレル
(3ページ)

ビジョンキャンプ(第9回)報告
金 慧源(キム・ヘウオン)
(3ページに写真を掲載)

クリティ・タパの日常生活
(4ページに写真を掲載)

2011年度決算報告
(6ページに掲載)

NPO法人 ブリッジズ・フォー・ネパール (BFN)

事務局: 〒569-0811 大阪府高槻市東五百住町3丁目1番4号(鬼頭宅)

Tel/Fax 072-695-0513

URL: <http://www.npo-bfn.org>

「ソーラーシステム」第2段階

2月中旬にソーラープロジェクトの第二段階のためネパールに行きました。実施する内容は、追加分の贈呈パネル3枚を持ち込み、昨年置いてきた1枚と合わせて4枚のシステムに組み立て、インバーターで学校の電気設備に給電できるようにすることです。また、学生たちに特別授業を実施する予定が加わりました。そのため、東根工業高校(手作りソーラーパネルで有名な学校)の先生方の協力をいただき、手作りの様子を記録したDVD(映像)と次世代太陽電池と言われている色素増感型太陽電池の模型を持っていきました。



後日屋上に設置されたパネル

しかし、大変なことが起こりました。トランジット先の中国広州に荷物が取り残されたのです。4日滞在の3日目ようやく荷物が届きました。3日目ちょうど特別授業を予定していたタイミングだったため、無事に授業はできましたが、滞在中は、配線とフレーム作成、発電のチェックのみ実施し、あとは、現地の技術者に任せることになりました。発電された電気はNHAの9学年の教室、10学年の教室、幼稚園の教室、コンピュータ教室、学校前の運動場、裏の運動場、事務室等の照明に利用されるとのことです。

BFN正会員 平岡真実

ネパールのカースト制度(1)

1. カーストとは?

カーストという言葉は、18世紀末にインドにやって来たポルトガル人の「血筋、種族、人種、身分など」を意味するポルトガル語の**カスタ**(casta 語源はラテン語のカストゥス)に由来します。このカーストという言葉が文化的状況において使われる際、(多くの古代社会、特に封建社会において身分制度は普及していたにも関わらず)ヒンズー社会、特にネパールやインドにおいて現代でも社会的身分と関連して使われます。

ヒンズー教では、人を階層別に構成された**4つのカースト**(四種姓)に区分します。これら4つのカーストに属さない人は、**アウトカースト**(見捨てられた人)と言われます。カーストは、宗教用語としては**ヴァルナ**と呼ばれます。それぞれのヴァルナ(カースト)は、それぞれの義務と権利を持っています。それぞれのヴァルナのメンバーは、同じヴァルナだけに許された職業に就かなければなりません。またそれぞれのヴァルナにより食事の種類も違います。

最も高い階層のヴァルナは、**ブラフマン**と呼ばれます。ブラフマンの人は、社会の指導者、司祭であり教養の高い人々です。その次の階層

ブラフマン	Brahman	司祭	再生族(dvija)
クシャトリア	Kshatriya	王侯、武士	〃
ヴァイシャ	Vaisha	庶民(農・牧・商)	〃
シュードラ	Shudra	隷属民	一生族
(パンチャマ)	Pancama	第5ヴァルナ	(不可触民)

のヴァルナは、**クシャトリア**と呼ばれます。クシャトリアの人は、社会の指導者、貴族です。3つ目のヴァルナは、**ヴァイシャ**と呼ばれます。**ヴァイシャ**の人は、地主、牧畜、商業です。4つ目のヴァルナは、**シュードラ**と呼ばれます。シュードラの人は、農民(農地を持たない)、労働者です。ここでカーストの階層は終わりです。これらのカーストより低い最下層の人は、アウトカースト(不可触民=アンタッチャブル)と呼ばれ、4つのカーストに触れてはならないとされています。アウトカーストの人は、清掃や下水処理などのような宗教的に不浄とされる仕事に就きます。上位の3つの階層の人は、社会的、経済的な権利を持っていますが、シュードラとアウトカーストの人は、それらを持っていません。また上位の3つの階層の人は、再生族(2度生まれる、再生する)と言われています。2度生まれるというのは文字通りの誕生と、ヒンズー社会に仲間入りする儀式による誕生を意味します。

ネパールの場合、それぞれのヴァルナ、アウトカーストは、民族ごとによっても分けられています。人はあるカーストに生まれると、それは生涯変えることができません。シュードラとして生まれた男性は、ブラフマンになることはできませんし、逆もできません。つまりヒンズー社会においてカーストというのは、不変の特性なのです。



元NHA教頭 **コモル・プラサド・ポカレル**

*コモル氏に連載していただくことになりました。ご期待ください。

ビジョンキャンプ(第9回)報告

1月27日～2月17日まで、韓国の青年20人と共に、ネパールのビジョンキャンプに参加しました。今回はNHAだけではなく、2つの他の地方の学校でもキャンプを行いました。NHAのビジョンキャンプは、クシクシホテルで、1回目は5,6年生、2回目は7,8年生、3回目は9,10年生、それぞれ約120名を対象に3日間行われました。



NHAの9,10年生との集合写真



キャンプ後、マチェガウン集会に来てくれた160人の学生たち

キャンプの初日、大きな声で神様を賛美している子供たちの姿は、とても可愛くて印象的でした。賛美と韓国・ネパールの文化交流(高学年の子供たちがネパールの伝統踊りを披露してくれました)、工作、スポーツ大会、キャンプ参加者(女性9名)のミス・ネパールコンテスト、昼食などを楽しみながら、4つのチームに分け、それぞれがチームの子供たちと個人的に話もでき、3日間、とても親しくなりました。

子供たちにマチェガウン集会の土曜学校に来るようにと手書きの招待状を渡しました。その結果、その週の土曜日に160人の子供たちが集会に来てくれました。全員が集会に入れなかったのは残念でしたが、とても祝福されたひと時でした。

ビジョンキャンプ参加者 **金 慧源(キム・ヘウオン)**

ベテル幼稚園を設立して

2012年2月1日、ネパール・カトマンズに約5ヶ月の準備期間を経てベテル幼稚園をオープンした。

ネパールの発展のために重要な部分の一つが、立ち遅れた教育を発展させることである。識字率47%、この指標だけ見てもネパール発展のために教育発展がどれほど重要なインフラであるかを知ることができる。

ネパールの首都カトマンズは約250万の人口が暮らす人口密集地域で、仕事を求めて、また学業を修めるために多くのネパール人が上京し、暮らしている。

貧しい国ながら、それなりに都市化は進んでおり、カトマンズでは夫婦共働きの家庭が増えている。そのため自然と1～3歳の子どもの託児施設の需要が急速に高まっている。

しかしながら、数少ない託児施設は非常に劣悪な環境で子どもたちの面倒をみている。特に衛生部分は劣悪で、また子どもたちの成長発達を考慮した科学的なカリキュラムや、評価されるに価する施設不在の中、営利目的の託児施設が雨後の筍のごとく増えている現実がある。

また3-5歳の幼稚園教育は3年課程で、大部分は小学校で営まれている。学校への適応という面では長所もあるが、専門性においては問題点も指摘されている。特に英語のアルファベットやネパール語の早期知識偏重教育は、子どもたちのバランスのとれた成長という面で、大きく問題を抱えているのが現実である。

このような状況で、「ベテル幼稚園」はモンテッソーリ施設とカリキュラム、またモンテッソーリ訓練を受けた専門教師を完備してオープンした。また、施設だけでなく、衛生面、安全面にもポイントを置いている。

この幼稚園は韓国のLove And MissionというNGO団体が、私たちの運営する現地NGOであるPEN (Pro-Education Nepal)を通してネパールの幼児早期教育の必要性を知り、事業費全額をサポートすることになった。

この事業を通して、ネパールに必要な教育発展の一部である0-5歳幼児教育に大きく寄与するだけでなく、NHAと連携しながら、幼稚園課程の発展のためのカリキュラム開発、教師訓練等の契機になればと望んでいる。

ベテル幼稚園設立者 **崔 根敏(チェ・クンミン)**



クリティ・タパの日常生活

子供の名前 : クリティ・タパ
お父さんの名前: ラプラカシュ・タパ
お母さんお名前: アシヤンタ・タパ

学 年 : 3年生
お父さんの仕事: 農業
お母さんの仕事: 主婦

クリティ・タパはNHAの3年生です。姉が2人と妹が1人います。父親は農業に携わり、母親は主婦です。彼女を含め6人家族です。2008年11月8日、幼稚園年長組からBFNの奨学生に選ばれています。優秀な生徒の1人です。勤勉で試験ではしばしば一番よい成績を修めています。



普段は朝7時に起床し、夜8時に就寝します。学校は10時に始まります。学校の準備は自分でします。彼女の家は学校から遠く、道路が狭いため交通手段もなく、歩いて30分かけて学校に通っています。3時30分に学校が終わると、帰宅しお菓子を食べます。それから友達としばらく外で遊びます。遊んだ後、全ての宿題を仕上げ、妹が宿題をするのを手伝います。彼女は幼いですが、家族の中で従順で働き者の娘です。BFNの奨学金を受けて

NHAで勉強できることを非常に喜んでいました。里親から手紙と贈り物を受け取ると非常に喜び更に勉強に励みます。



クリティの両親によると、クリティは勉強に興味を持ち、不平を言わずに学校に休まずに通っています。妹の面倒をよく見、妹の宿題を助けます。水汲みや他の家事も時々手伝ってくれます。家ではよく喋り、賢くしています。誰も彼女に宿題をするように言う必要はありません。両親にもよく従い、姉と妹を愛しています。彼女の両親はBFNの奨学金を受け取れることを非常に喜び、クリティの勉強を支援してくださることに感謝しています。4人の子どもたちは全

員NHAで学んでいます。

クリティの父親は感謝の気持ちを次のように表しています。

「私の娘クリティに対し奨学金を与えてくださり、私は非常に嬉しく日本のBFNの皆さまに感謝しています。あなた方の親切な愛とご支援によって私の娘がNHAというこのように素晴らしい学校で英語を使って学ぶことができいております。私の家の経済状況は非常に厳しく、農業だけで家の全てを賄うことは不可能です。私には全ての娘たちの学費を支払う能力がありません。ですから、もしあなた方のご支援がなければ私の娘はNHAという素晴らしい英語を使って学ぶ学校に行くことはできなかったことでしょう。あなた方の親切なご支援のおかげで、今、娘はNHAに通うことができている。親切なご支援を心から感謝いたします。」

クリティの担任の先生は次のように話しています。「クリティはよくしつけられており、優秀な生徒の一人です。学校に休まずに通い、全ての宿題と授業の課題を誠実にやります。授業中に騒ぐことはなく、注意深く教えられていることを聞きます。友人を助けることもします。よい習慣を持ち、勉強にも熱心に励んでいます。非常によい点数を取り、試験に合格します。非常に優秀な生徒です。」





質問箱

質問: 「正会員費は、どのようなものに支出しているのですか。」

回答: 正会員は、賛助会員費やスポット支援金を全額ネパールに送金するために、裏方に徹し支援するのが目的の会員です。正会員費は、下記のものに使用しています。

- 正会員費 — 事務費 …… 銀行引落し代、送金手数料、プレゼント送料、消耗品費
- 会報誌費 …… 「ジャイモシ」プリント(インク、用紙)代、郵送料
- 印刷費 …… 封筒代、パンフレット代
- プレゼント費 …… 賛助会員からのプレゼントがない場合のプレゼント代行費
- HP費 …… ホームページの維持管理費

なお、これら事務の人的費用は、一切支出することなくボランティアとして活動しています。また、12年度からは、余剰金をネパール留学生支援金に支出する計画をしています。

ネパール豆知識 (これって知ってた?) ネパールは、今でも物々交換しているの?



ポカラにチベット人の難民キャンプがある。チベットの婦人が作るカーペットで有名な場所である。品質はとても良いが、珍しく一切の値引きはない。婦人が日本語で「ブチュ・ブチュ・コカン」と叫んでいる。夜店のような小屋が並び、アクセサリー、指輪、首飾りなどが置かれ、それらと交換してほしいと言うのだ。ハンカチ、ティシュペーパー、Tシャツなど何でも良い。これらは、客相手の物々交換である。

山岳地域に住むチョバン(民族名)は、低地に住むタルー(民族名)と物々交換をする。チョバンは、焼畑や段々畑で作るトウモロコシやヒエが主食であるが、祭りの為に米が必要になる。チョバンは、竹製の「ダール」と言う米を入れるかごを作る。それを持って低地のタルーに下り米と交換する。他の山岳地域では、山で作ったジャガイモと低地の米と交換する。物々交換都会では見ることはないが、山岳地域では、今もしっかり生きている。GNPだけでは、ネパールの経済は計れない。自給自足がここでは当たり前なのだから。

こんな自分も必要とされている!!!

私は、この春、初めて平岡真実さんとネパールに行きました。韓国のビジョンキャンプチームの方々や日本人の大学生たちともホテルが一緒だったので良い交流ができました。ビジョンキャンプチームは、高校生を含む若いメンバーでした。彼らは、自分のお金で参加していること、訪問の為に半年間の準備をして参加していることを聞きました。また日本人の大学生は、クリスチャンではありませんが、日本への留学を希望している学生に日本語を教えるためにやって来たことも知りました。

ネパールの子供たちに必要な援助がたくさんあります。そんな中で先頭に立って働き、ネパールの人々の良き隣人となっていたのは、若い韓国人クリスチャンであり、日本人の学生でした。私は、彼らを見て正直、恥ずかしくなりました。彼らがお金も時間も体力も喜んで捧げている一方で、私は、ネパールが働き手を必要としていることすらも認識していなかったのです。

人は、神様の前にちっぽけな存在だけど、そんなちっぽけな存在でも出来るがたくさんあることを知りました。自分の未熟さを理由に前進するのをやめたり、与えられたものを人に捧げることを拒んだりするのは、やめようと思いました。



NHAボランティア **小島友也**

2011年度 決算報告

2011年4月1日～2012年3月31日

収支決算書

(単位 円)

(収入の部)			(支出の部)		
科目		収入額	科目		支出額
入会金・会費	正会員入会金	30,000	事業費	未就学児童への支援事業	1,672,946
	正会員会費	612,000		教育機関への支援事業	645,298
	賛助会員会費	2,517,500		ベテル幼稚園事業用	4,072,720
寄付金	スポット支援金	764,000		医療支援事業	0
	ベテル幼稚園事業用	4,003,512		日本における啓蒙活動事業	97,137
雑収入	雑収入	100	事務費	会費収納管理費(会費引落手数料)	227,698
当期収入合計(A)		7,927,112		郵送料・通信費	36,080
前期繰越金	賛助会員会費繰越金	82,385		消耗品費	1,216
	スポット支援金繰越金	606,143		その他	3,930
	事務費繰越金	111,921		支出合計(C)	
	長期ビジョン積立金	454,500	当期収支差額(A)-(C)		1,170,087
収入合計(B)		9,182,061	次期繰越収支差額(B)-(C)		2,425,036

貸借対照表

2012年3月31日

(単位 円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】		【流動負債】	0
現金	5,253	【固定負債】	0
預貯金		負債の部合計	0
三井住友銀行	502,513	純資産の部	
ゆうちょ銀行(振替)	959,270	賛助会費繰越金	302,198
ゆうちょ銀行(定額)	958,000	スポット支援繰越金	958,995
【固定資産】	0	事務費繰越金	205,843
		長期ビジョン積立金	958,000
		純資産の部合計	2,425,036
資産の部合計	2,425,036	負債・純資産の部合計	2,425,036

支援者状況

2011年度 (2011年4月～2012年3月)

2012年3月31日現在

区分	人数・件数	金額	備考
正会員	19名	入会金 10,000円	
		月額 3,000円	
賛助会員	85名	月額 2,500円	
子供支援数	86名	月額 2,500円	
スポット支援	38件	764,000円	

新規に支援される子供たち 2011年度 (2011年10月～2012年3月)

2012年3月31日現在

氏名	性別・学年	氏名	性別・学年	氏名	性別・学年
ブラジン・マハリヤン	男 5年生	ジャムナ・マハリヤン	女 4年生	サリム・マハリヤン	男 4年生
ジョジ・タバ	女 10年生	ススミタ・アディカリ	女 2年生	クリチカ・アディカリ	女 2年生
サディクシャ・リヤル	女 4年生				